

# 図書館ブックディテクションシステムの人体への影響は

**答** 事故報告はない



小林 征男 議員

**問** 町立図書館のブックディテクションシステムは、何を目的に設置しているのか。

**答** 社会教育課長

平成19年9月の開館当時から図書館資料（本・CD・DVD）の紛失を防止する効果的なセキュリティシステムとして設置。

不正持ち出しに対する抑止力、図書自動貸出機器の誤作動に対する最終的なチェックを行う機能も有している。

**問** 装置の作動状況はどの程度か。

**答** 課長 直近の1か月間で、8回作動を把握。

バッグに入れたのを失念してゲートを通過した4件、子どもが誤って持ち出した2件、図書自動貸出機の操作ミス2件。

**問** 装置から電磁波が出ているのは知っているか。また、人体に影響があると考えるか。

**答** 課長 安全性の確認として、同機器は総務省から認可を受けた型式指定取得品であり利用上の問題はない。

また、医療用機器（ペースメーカー）装着者に対し、総務省の指針に沿って注意を喚起するステッカーを貼付している。

今後は、もっと見やすく、分かりやすい表示にする。

さらに、環境省、経済産業省、財団法人電磁波情報環境センターに照会、環境省発行「身のまわりの電磁界について」の提示を受け、健康への有害な影響を起さすという科学的根拠はないと判断した。

**問** 当図書館を含め事故は起きていないか。

**答** 課長 開館以来、同機器に起因する事故報告は一度もない。

**問** 近隣の図書館での設置状況はどうか。

**答** 課長 福岡都市圏（福岡市は除く）では、春日市、大野城市、宗像市、古賀市、福津市、那珂川町、粕屋町の8図書館で同システムを設置。

**問** 撤去した場合、何か影響はあるか。

**答** 課長 不明資料が増加し、図書館の費用負担等が課題となる。図書館の有効的な運用と不正持ち出しに対する抑止力の観点から撤去する考えはない。

その他の質問  
◆大規模災害時に河川の点検は



町立図書館入口ブックディテクションシステム



飛賀 貴夫 議員

# 今後の行財政運営を質す

## 答 財政の安定化を図る

**問** 平成27年8月に実施した機構改革の成果と課題の検証は。

**答** 総務課長 都市計画課、建設課、農林振興課、上下水道課が南別館に入り、技術職をまとめることで効率性と集約化を図り、運用しやすくした。

共働のまちづくり課をまちづくり課に課名変更し、役場に設置。子育て支援課をうみハピネスに移し、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター等を集約し、子育て・子育ての環境整備に力を注ぐ。

本町の厳しい財政状況、職員の育児休業の増加等により実働職員が減少している。第6次総合計画に挙げた目標を実現するためには、事業の重点化、選別化を適性に行い、柔軟な組織及び職員の配置が必要と考える。

**問** 職員給与はどの程度増額になったか。

**答** 課長 平成26年度は約14億7,730万円、27年度は約14億6,265万円で、27年度の方が約1,460万円減額。

要因は、27年度中に課長級職員2名が退職したため。総人件費については、慎重に進捗状況を見ながら適正な職員配置を行う。

**問** 町立保育園の民営化の考えは。

**答** 子育て支援課長

現在、待機児童、保育士不足、施設老朽化等の問題を抱えている。保育の充実を図るため、平成29年3月を目標に保育所整備の具体的な年次計画を作成し、整備を進めたい。

**問** 町営住宅建替えに

反対ではないが、この財政難の折、計画通りの建替えが、町民の理解を得られるか。

RC造から軽量鉄骨造等に変更し、小中学校のトイレ改修やエアコン設置等の教育環境改善に少しでも予算を回せないか。

**答** 副町長 今の町営住宅は非常に環境の悪い状態にある。今の段階では、計画を変更すべきではないと思う。

**問** 今後の行財政運営に必要なと考えることは。

**答** 町長 財政の安定化を図りながら、大型事業を漏らすことなく、粛々と計画的に進めることが、大きな課題である。

人口減少が進み、地方創生の必要性が叫ばれる中、当町が財政難にある要因は、公共施設が軒並み老朽化する現状と、都市化を進めていく上で道路インフラ整備が急務であるため。



うみハピネス内に子育て支援課を移設